

第6章 経営戦略の事後検証

経営戦略は、定期的に見直すことで、事業の実績や進捗状況、経営の健全性、本市水道事業としての方向性や方針を確認することができる。

見直しの際には、設定した具体的な目標値を参考に、経営戦略が計画的に実施されているか、毎年度進捗管理(モニタリング)を行うとともに、3～5年を目処に大幅な変更があった場合は見直し(ローリング)を図る必要がある。

策定・改定のプロセスについては、計画策定(Plan)→実施(Do)→決算分析・乖離要因把握・検証(Check)→取組の再検討(Action)→改定(Plan)・・・というPDCAサイクルを繰り返すことで、安定的な経営を確立し、持続的な経営改革に取り組んでいくことが必要となる。

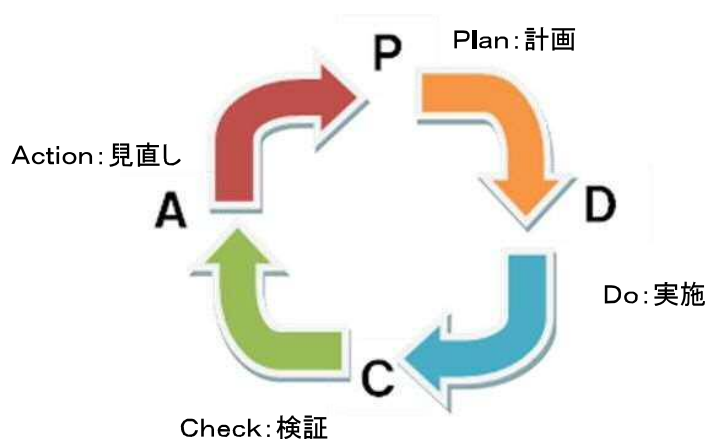


図 13 PDCA サイクルイメージ